

OSCE実施マニュアル（第1版） 修正について

2025年3月に発行致しました「OSCE実施マニュアル（第1版）」整形外科疾患の課題について、記載内容に不明瞭な点がございましたので、下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

		記	
		Post-OSCE	
		前日配布 p65	当日提示 p66
修正意図	前日配布の文章を当日提示と同じに修正		
課題		両側変形性股関節症に対して、2 週間前に左人工股関節全置換術を施行された患者様の〇〇 〇〇様（生年月日 1966 年 4 月 20 日）です。術後 3 日目から部分荷重を開始し、現在、疼痛の状況に応じて全荷重が許可されています。以下の課題を行ってください。 <u>課題 1、課題 2 で実施した評価結果を基に、その結果・統合と解釈を含めたカルテ記載が課題 3 になりますので、その予定で進めて下さい。</u>	両側変形性股関節症に対して、2 週間前に左人工股関節全置換術を施行された患者様の〇〇 〇〇様（生年月日 1966 年 4 月 20 日）です。術後 3 日目から部分荷重を開始し、現在、疼痛の状況に応じて全荷重が許可されています。以下の課題を行ってください。課題 1、課題 2 で実施した評価結果を基に、その結果・統合と解釈を含めたカルテ記載が課題 3 になりますので、その予定で進めて下さい。
課題1		<u>主訴・ Hope、疼痛および ADL（トイレ・入浴動作）、家庭環境や仕事などに関する問診での情報収集、両側の下肢長の計測、術側の股関節周囲筋の筋長検査のうち Ely テストおよび Thomas テストを実施してください。計測結果は評価者に口頭で伝えてください。（8 分）</u>	<u>主訴・ Hope、疼痛および ADL（トイレ・入浴動作）、家庭環境や仕事などに関する問診での情報収集、両側の下肢長（棘果長、転子果長） の計測、術側の股関節周囲筋の筋長検査のうちEly テストおよび Thomas テストを実施してください。計測結果は評価者に口頭で伝えてください。（8 分）</u>
課題2		<u>術側の股関節伸展の可動域を確認後（角度計を使用する必要はありません）、関節可動域運動を 5 回実施</u> してください。また <u>術側</u> の股関節外転可動域を角度計にて測定し、術側の股関節外転筋力を MMT にて確認した上で、 <u>術側</u> の股関節外転筋力に対する筋力増強運動を <u>5 回実施</u> してください。なお、角度・筋力の評価結果は評価者に口頭で伝えてください。（8分）	術側の股関節伸展の可動域を確認後（角度計を使用する必要はありません）、関節可動域運動を <u>5 回</u> 実施してください。また術側の股関節外転可動域を角度計にて測定し、 <u>術側の股関節外転筋力を MMT にて確認した上で、</u> 術側の股関節外転筋力に対する筋力増強運動を <u>5 回</u> 実施して下さい。なお、角度・筋力の評価結果は評価者に口頭で伝えてください。（8 分）

以上